

現在 修行中の徒弟さんへの手紙

大本山永平寺東京別院
長谷寺御内 持田賢真様

こんにちは、賢真さん。〇〇さん、〇〇の〇〇さんのお話ではなかなかよく馴染んでいて大丈夫です、元気にやれていますよという報告を受けて少し安心しています。さすがに賢真さんは半年間 見性院で欠かさずの暁天座禅、朝課を続け、真面目に修行をしていただけのことはあったのだなあと思いました。今の見性院を一言で表わすのなら「(絶)好調」「(超)多忙」の毎日に向かいつつあります。ですから 2 年間の修行を終えて見性院に戻られた時は、“浦島太郎”状態になるかもしれませんよ。是非とも楽しみにしててください。最近では納経塔、阿修羅像塔、お休み処“一休庵”の建立など境内も日に日に変化を遂げております。本堂内も高級椅子、吊灯明、永平寺型唐獅子の設置など雰囲気もかなり変わってきました。見性院の僧侶、スタッフも皆一様に元気で頑張ってくれていてお仕事は増える一方です。来年は本堂脇に仏具用物置、ご遺体安置室、第三事務所、本堂屋根の修復等の事業は成し遂げたいと思います。

それと本日別院だよりが届きました。大衆(だいしゅ:修行僧のこと)も多くさすがに今の別院は活気がありますよね。〇〇の〇〇〇〇さんがいたのはちょっと驚きです。それから今年はその人がお亡くなりになりました。〇〇の人達は何かと今後が大変そうです。それではまた手紙書きますね、お元気で。

見性院 橋本 英樹